

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設名	保育園夢未来井荻園
法人名	株式会社 我喜大笑
法人所在地	港区新橋2-16-1ニュー新橋ビル402

1. 活動のテーマ

<テーマ>

野菜の栽培・食育

<テーマの設定理由>

当園は園庭がなく、栽培活動は数年前まで徒歩10分ほどある区民農園で行っていた。区民農園が廃止になったことにより一時は栽培活動ができなくなった。しかし近隣の高齢者施設の畑（花壇）を高齢者の方と交流しながら使わせていただけることになり、更に園の建物の環八側の植え込みも使用可となり、栽培活動の継続ができることになった。苗や種を植え、野菜について興味を持ち、「実はどのようにしてできるのか」「葉っぱや茎は食べられるのか」等の疑問を持ち、実際に経験し、関心を深める。また、収穫したり実際に育てた野菜を食べる経験をしたと考えたため。

2. 活動スケジュール

令和6年5月 畑の土起こし、整地
令和6年5月17日 さつまいもの苗付け
令和6年6月11日 大根の種まき
令和6年8月6日 大根収穫と大根葉丼実食
令和6年10月2日 さつまいものクキ収穫とクキのすじむき、実食。
令和6年11月6日 さつまいも収穫
令和6年1月31日 畑の土づくり

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

- ・ご近所のはなまるホームの畑と園の植え込みの土起こし、整地、畝づくり
- 農具・有機石灰・種苗
- ・ザル・バケツ・軍手等

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

○大根の種まき→水やり→図鑑で研究→収穫→大根葉と大根白い部分を観察。お店で売っている大根との違いを感じる。洗って土を落とし、大根葉を調理し、白い部分だけではなく葉もおいしく食べられることを実感する。

○さつまいも畑の土づくり→土を耕して呼吸させて有機石灰を混ぜ込んで日光を浴びて良い土をつくる。○苗植え→ツルが伸びていく側を向けて植える。→根づいて茎葉が伸びてサツマイモの収穫期前に茎葉を収穫。→茎の筋皮をむき、甘辛く煮て食べる。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

普段、青いものが苦手な子も自分たちで種まきして育てた大根の葉を鶏ひき肉と一緒に甘辛く煮たものをごはんにかけてたくさん食べられた。大根もさつまいもも掘る前に葉だけを引っ張ると実が土に残されちゃうかもよ、と話す土を掘ってあげて実を助けだしてあげようとして一生懸命に土を掘って実の全容が見えてきてから茎を引っ張っていた。さつまいものクキはスーッと長くむけると喜び、爪の中が真っ黒になりながら何本もスジをむいて「首が痛くなってきた」と言いながらも「おいしく食べるのって大変だよね。」としみじみ保育士に話していた。柔らかく煮たさつまいものクキ煮はほんのり甘く「さつまいもの味がするよ!」といもほりの前にも収穫と実食を楽しめた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

・大根もさつまいもも根っこで土の中で育つんだ、ということを図鑑だけではなく自分たちで育ててみる事が出来た。大根はスーパーでは葉がほとんど落とされて売られているが、あの大きくて太い大根もはじめは小さく細く、そして立派な葉がたくさんあって鮮度のいい大根葉はこんなにもやわらかくておいしいのだと子どもたちと一緒に感じる事ができた。土の中で育つ野菜は特に土づくりが大切であることを学び、子どもたちと一緒に土から育てられた。